【視障協だより】

令和８年（２０２６年）９月２０日

第２５６号

発行責任者　中神　誠
編集責任者　加藤　辰夫
社会福祉法人広島市視覚障害者福祉協会
〒７３２－００５２
広島市東区光町二丁目９－２４
広島ロードビル内
ＴＥＬ　０８２－２６４－４９６６
ＦＡＸ　０８２－５６７－４９７７
Ｅメール：jimu@hiroshimashi.shisyokyo.jp

目次

【巻頭言】……3 ページ

【お知らせ】……4 ページ

社会福祉法人創立記念祝賀会の開催（第 2 報）……4 ページ

青年・職業部、社会見学のお知らせ……5 ページ

女性部、第 2 回研修会「イスに座ってできるヨガ」の開催

……6 ページ

【報告】……7 ページ

福祉環境部、「IndoorFlow」体験会への参加報告……7 ページ

【事務局より】……10 ページ

今月の会員……10 ページ

編集後記……11 ページ

【巻頭言】（理事長　中神　誠）

９月１２日（土）と１３日（日）、島根県出雲市で日視連中国ブロック視覚障害者福祉大会が行われました。提出議題の中には、なかなか解決できない課題がたくさんあると改めて思いました。来年は当協会が主催して、９月４日（土）と５日（日）に広島市で行います。今年は、全国視覚障害青年研修大会を広島市で行います。事務局は次々と行事があり準備に追われています。１０月１１日（日）に行う祝賀会も最後の準備が進んでいます。

９月６日（日）、久しぶりに何もないので、バルト 11 に「平行と垂直」と言う映画を観に行きました。この映画は、監督・小林聖太郎、脚本・山野海、主演・安田章大、のん。内容は、自閉スペクトラム症の兄・大貴と、幼い頃から兄を支えてきた妹・希。兄と妹は幼い頃に母を亡くし、ネグレクト気味の父親から距離を置き、二人で懸命に生きてきた。大貴の職場の人間関係、そこから生まれる様々なトラブルに見舞われながらも、兄と妹が培ってきた暖かな人間関係に支えられて生きる二人の姿。妹が結婚することになり、妹の彼氏の両親に会いに行った兄と両親の会話など、障害を理解しよ

うとする様子もとても分かりやすい内容でした。私も、視覚障害者以外の知的障害者、身体障害者が働く場である、きつつき共同作業所の後援会長を務め、作業所の様子を演劇にしたり、歌にしてCDを作ったりして、きつつきが法人化するまで一緒に頑張ったことを懐かしく思いました。この映画は、「ハロームービー」というアプリを利用して音声ガイドを聴いたので、とても分かりやすかったです。視覚障害者には重複障害の人もおられるので、早く作業所を造らないといけないと思いました。天候不順な折、皆さんご自愛ください。

【お知らせ】

☆社会福祉法人創立記念祝賀会の開催（第２報）

先月号でご案内した社会福祉法人創立記念祝賀会の詳細が決まりました。視障協の大きな節目となる祝賀会です。歓迎演奏も楽しめます。参加費も、昼食と記念の紅白饅頭で１万２千円のところ

を、視障会会員は 5 千円（付添者も同額）とお得です。ふるってご参加ください。

１.日時：10 月 11 日(日)12:00～14:00　受付 11:30 から

２.会場：ホテルグランヴィア広島 4 階「悠久」(南区松原町 1-5)

(先月号で 3 階とご案内したのは間違いです。)

３.内容：国歌、日盲連会歌の斉唱、主催者及び来賓挨拶、歓迎演奏（バイオリンとチェロ）、歓談、祝宴料理（ビール等アルコールも楽しめます。）

４.参加費：5,000 円（付添者同額）

５.その他：記念品の紅白上用饅頭あり

６.申込：9 月 30 日(水)までに視障協事務局(082-264-4966)へ

＊申込期間を延長しました

青年・職業部

☆社会見学のお知らせ

昨年に続き、果物狩り（貸切りバスで日帰り）を行います。様々な品種のりんごの食べ比べと、ピザ作り体験が楽しめます。

日時：11 月 8 日（日）10 時～18 時(予定)
集合：9 時 50 分、新幹線口ペデストリアンデッキ（時間厳守）
訪問先：小石川観光りんご園（東広島市豊栄町清武 1373-1）
https://www.kamoproject.co.jp/business/apple
対象：視障会会員、広島市内在住の視覚障害者、付添（１名）
参加費：
①りんご狩り：中学生以上 900 円、小学生 800 円。
②りんご量り売り：1 キロ 700 円
③ピザ作り体験：470 円（特製りんごスイーツピザの試食付き）
④保険加入費：150 円
その他：園内への弁当・飲み物の持ち込み可能。昼食として別途ピザ生地やりんごピザの追加購入可能（事前予約必要）。お好みの具材やソースを持ち込みオリジナルピザの作成も可能。持ち込み出来ないものもあります。
定員：２０名で先着順
申込：１０月２６日（月）正午までに視障協事務局(082-264-4966)へ、参加者・介助者の氏名・性別・生年月日・住所・電話番号（携帯電話推奨）をお知らせください。

女性部

☆第 2 回研修会「イスに座ってできるヨガ」の開催

日常の疲れをほぐし、心身ともにリフレッシュしませんか？

今回は、椅子に座ったまま無理なく行えるヨガプログラムを開催します。初めての方でも安心してご参加いただけます。皆様のお申し込みをお待ちしております。

日時：10 月 25 日（日）10:00～12:00（終了予定）
場所：心身障害者福祉センター 2 階 会議室 2・3
講師：ヨガインストラクター 小西 知世 氏
対象：広島市内在住の視覚障害のある方
定員：15 名（先着順／付き添いの方は 1 名まで同伴可能）
参加費：無料
持ち物：タオル、5 本指靴下、飲み物
申し込み：10 月 16 日（金）正午までに、視障協事務局(082-264-4966)へ。

【報告】

福祉環境部

☆「IndoorFlow」体験会への参加報告

皆様こんにちは、福祉環境部の高松です。先日、広島駅で開催された、屋内ナビゲーションアプリ「IndoorFlow」の体験会に参加しました。「IndoorFlow」は、GPS の電波が届かない駅構内や地下

街でも、スマートフォンのカメラで周囲の風景をスキャンし、空間の特徴を照合することで、現在地を特定・案内してくれる最新のアプリです。実際に使ってみると、私たちの移動の自由を大きく広げてくれる素晴らしい可能性を肌で実感できました。

これまでは、駅ビル「ekie」を利用する際、インフォメーションカウンターでスタッフの方に同行をお願いするのが常でした。体験会終了後に早速、アプリを使い一人でどこまで行けるか挑戦しました。まず「一風堂」でラーメンを堪能。その後、アプリでお手洗いを検索して立ち寄り、1 階へ降り「れもんすたんど 島ごころ」で爽やかなレモンスカッシュを一杯。再び 2 階に上がり、お土産館の「にしき堂」で買い物を楽しみ、最後はみどりの窓口正面のスターバックスまで無事に辿り着けました。途中、ナビゲーションが少し不安定になる場面もありましたが、フロアを上下に行き来し、自分の意志と足で目的地を次々と巡ることができた時の高揚感は格別でした。カメラで周囲の風景を捉えて位置を合わせるため、最初のスキャンをしっかり行うことが安定動作の鍵です。この初期スキャンの向きや角度を、音声や振動（ハプティクス）でより分かりやすく誘導してくれると、さらに扱いやすくなりそうです。また、

iPhone プロシリーズに搭載されている LiDAR スキャナを活用した「ドア検知」や「テキスト認識（看板やメニュー読み取り）」といったオンデバイスのアクセシビリティ機能と連携すれば、「店舗の入口ドアを見つける」「レジの位置を把握する」といった至近距離の動作も格段にスムーズになるはずです。この屋内ナビゲーションの仕組みが、駅だけでなく大型商業施設や総合病院、市役所などの公共施設へと広がることを心から切望しています。迷路のような病院の検査室や診察室、広大なショッピングモール内の行きたいショップまで、自分のスマートフォンを頼りに向かえられれば、日常生活の安心感と自立度は劇的に向上します。対応するスポットが増えるほど、私たちの行動範囲と「行きたい」という意欲は無限に広がるはずです。今回の体験を通じて強く感じたのは、「すべてをスマホと自分の力だけで完結させようとしないこと」の大切さです。テクノロジーが進化して目的地の手前まで自力で行けるようになったからこそ、最後の数メートル、レジ列の最後尾や店内の細かな段差、診察室の扉の前といった「ラストワンマイル」では、周囲の人の目を借りることをためらわない「受援力」がこれまで以上に求められます。目的地付近まで自力で到達できてこそ、「にしき堂のレ

ジはどちらですか？」「〇〇科の待合席は空いていますか？」とより具体的に助けを求めることができ、声をかけられた側もサポートしやすくなります。アプリというテクノロジーは、人を頼らず結果的に人と「壁」を作るものではなく、軽やかに外へ飛び出し街や人と心地よくつながる「翼」です。確かな可能性を秘めた技術が多くの施設へ広がる未来にワクワクしながら、デジタルと人の温もりを上手に組み合わせて、もっと自由に街歩きを楽しんでいきたいですね！

【事務局より】

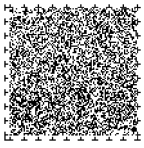
☆今月の会員

　社会福祉法人化に伴い、新たな組織「視障会」への移行手続きが続いています。9 月末で確定し、10 月号以降で順次掲載しますので、もうしばらくお待ち下さい。

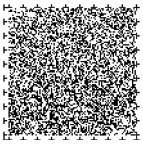
※3 月 31 日（直近）の総会員数　229 名

☆編集後記（視障会・会長 加藤辰夫）

皆様こんにちは。お彼岸が来るというのに、日中は暑い日が続いておりますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。さて、私も、８月２３日に広島駅で開催された屋内ナビゲーションアプリ「IndoorFlow」の体験会に参加しました。スマホのカメラを使って、屋内の目的地まで案内するアプリでした。実は、目が見えなくなってから広島駅ビル内を歩いて回ったことがなく、新しい駅にあるお店は全く分かりません。そのため私の順番が来て、行きたい店を聞かれても分からず、お任せして、揚げもみじの「もみじ堂」に行ってみることになりました。スマホの音声や音に従い歩いて行くと、私でも、もみじ堂にたどり着けました。それから、御座候に行き、最後に、年寄りになった私が一番気になるトイレに立ち寄り、体験が終わりました。最初は恐る恐る歩いていたのですが、スマホに任せても大丈夫と感じ、最後の頃には安心して歩けました。終わってから、スタッフの方にお聞きしたところ、まだ使える場所が少なく、駅では東京駅と広島駅だけとのことでした。私と一緒に話を聞いておられた、視障協の理事でサッカー大好き先生は、早速自分のスマホにアプリを入れてもらったようで、近日中に東京駅に行く



ので使ってみるとのことでした。私はこの体験を終えて『スマホは視覚障害者のためにある！』と再認識したのでした。そして、中央改札出口から一歩も動けない私でも、このアプリを使いこなせるようになれば、駅の中を自由に動き回れるのではないか、今度、私のスマホにも入れてもらいたいと思ったのでした。それはともかく問題は私のスマホ、アイフォン SE 第 2 世代です。iOS26 にアップデートした後、メールが使えなくなり、Siri の調子もよくありません。それでも、電話、メッセージ、アプリは使えるのでそのまま使っています。最近は、Eye Navi の使用中に誤作動が多くなったり、Be My Eyes でボランティアに繋がっている最中にトラブルが発生したりします。何とかしなければと思いつつ、そのままになっているのでした。視覚障害者のほとんどの人は、ホームボタンの付いたＳＥを使っておられると思うのですが、新しい機種はホームボタンがなく、私もそうなのですが不安で、買い替えに躊躇される方も多いのではないかと思います。今回体験させてもらった「IndoorFlow」をはじめ、素晴らしいアプリがどんどん開発されています。新しいアプリを使うためにも、SE は卒業したいと考えており、新しくした暁には使い方に悩むはずなので、ICT 利活用支



援ボランティア派遣事業に申し込んで使えるようになり、自分の活動範囲をどんどん広げていきたいと思っています。スマホに関して悩んでいる方がおられたら、ICT 利活用推進担当に気軽に相談されたらいいと思います。そして皆さんも、スマホを活用してどんどん行動範囲を広げていきましょう。まだまだ残暑が続くかもしれません。お身体に気を付けてお過ごしください。